

# 私立 大正大学

取組名称 学生のキャリア意識早期動機づけとその形成を支援する体制の構築

取組担当者 キャリアエデュケーションセンター 部長 有川 貢

## 1. 本学の概要

大正大学は、1926(大正15)年4月に天台宗大学・豊山大学・宗教大学が合併し発足し、その後1943(昭和18)年に智山専門学校が加わり、四宗による設立大学となった。2010(平成22)年度より仏教学部、表現学部の2学部が設置され、人間学部、文学部の2学部体制から4学部体制となり、計4,015名の学生が学んでいる。

本学では建学の精神である仏教の基本思想「智慧と慈悲の実践」により「人類の幸福」のために貢献する人材を育成することを目的としている。

昨年より学生や保護者、卒業生、さらには地域社会といった本学のステークホルダーからの期待、要望に応えるための活動を責任を持って推進していくための運営指標として、大正大学ソーシャルレスポンスビリティ(以下TSR)を掲げた。そして、このTSRに基づいた教育ビジョン

「4つの人となる」

- ・生きとし生けるものに親愛の心を持つ人となる(慈悲)
- ・とらわれない心を育て、正しい生き方をできる人となる(中道)
- ・真実を追求し、自らを頼りとして生きられる人となる(自灯明)
- ・共に生き、ともに目標達成の努力ができる人となる(共生)

を策定した。そして、この教育ビジョン「4つの人となる」を共有することで目標を達成するTSRマネジメントを構築し、実行している。(「図1 TSRとは」)

## 2. 本取組の概要

近年、若者のキャリア意識の低さが指摘されており、大学においても同様の傾向が見られる。そのため本学では、初年次にキャリア育成支援科目を正課科目とし

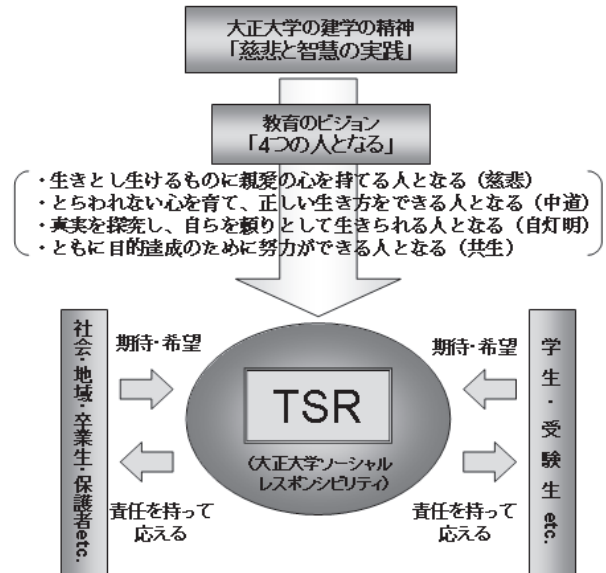


図1 TSRとは

て位置づけ必修とし、学生にキャリア意識を動機づけ、その向上を図り、学年進行とともに適切なキャリア形成支援を実施している。そして、キャリアコンサルタント有資格者によるキャリア相談を行い、学生一人ひとりに適切な指導をしている。

また、従来型の大学教育とキャリア教育を融合し、学生のキャリアを組織的・体系的につくり上げていくこととそのサポートすることを目的としたキャリア教育研究所を設置した。キャリア教育研究所では、学生のニーズと社会・企業のニーズを調査、分析し、それらの適合を図ることにより学生と企業の不一致を防ぐ有機的な就職支援へとつなげ、社会人基礎力を養成するキャリア支援講座により学生のキャリア形成を実現させる。

これらのキャリア支援体制により学生にキャリア意識を初年次より動機づけ、個人個人の能力を生かせるキャリアへと導き、その定着率を向上させることを目標とする。

### 3. 本取組の趣旨・目的・達成目標

#### (1) 趣旨・目的

近年の学生は素直で真面目である。それゆえに大学が提供するキャリア教育・支援のルールに乗り、プログラムに従いキャリア形成に必要とされるある程度の知識、技能、能力を修得することができる。しかし、就職活動や卒業後の社会にはキャリアのルールは敷かれておらず、挫折してしまうことが少なくない。そのため大学はキャリア育成のルールを敷くだけでなく、学生自らが将来のビジョンを描き、実現のための課題は何か、その課題を解決するための実施項目は何か、その実施項目を達成したとする指標は何か、その指標を評価した結果をどう生かすかなどについて自律的に学修をし、目的を達成できる仕組みを提供する必要がある。

本取組は学生が抱えている将来のキャリアに対する希薄な意識を改善し、職業人となる為の自覚と自立心を養うことによって、各自の進路選択の能力を身につかせ、学生自身による能動的で、明確な意思を持ったキャリア選択とその成果による就職後の定着率アップを目指し、学生一人ひとりのニーズにきめ細かく対応できるキャリア支援体制の強化を図るものである。

#### (2) 達成目標

本取組では学生のキャリアに対する意識を初年次より積極的に動機づけ、その意識を持続かつ向上させるために大学4年間を通じて継続的にキャリア支援を実施する。学生がこのキャリア支援を通して将来のキャリア設計を明確にし、その実現に向けた技術や能力を身につけ、就職はもとより就職後においても自分の適性にあったキャリア選択の実現を図ることができる能力を身につけることを目標とする。

### 4. 本取組の具体的内容・実施体制

#### (1) 内容

1年次は『自分を知る・社会を知る』ことを目的に、「キャリアデザインゼミⅠ(大学入門3)」で実施する「自己発見レポート」において、自分自身と向き合い、自らを客観視する中で、生き方やキャリアプランについて考え、自分の適性や目標を探る。

2年次は『社会で求められる力を身につける』を目的とする「キャリアデザインゼミ」や「キャリア育成特設講座」を通じて職業観を高めるとともに、仕事に

対する興味・関心を高めながら、自らのキャリアデザインへと投影していく。初年次より自分を知り、将来のビジョンを明確にすることで目標達成のために自律的な学修を可能とする。

3、4年次は「キャリアプランニングゼミ」や「就職支援プログラム」により学生が自らのキャリアプランを作成し、将来の目標の実現に向けてキャリアを広げるとともに、ビジネスマナーやコミュニケーションといった社会的な実践能力を身につける。さらに将来の自分をつくり出すための具体的な講座として大正大学アドバンテージプログラム(TAP)を開講しています。TAPでは社会的・職業的自立のために必要な能力として、社会・業界研究、各種資格、コミュニケーションツールとしての語学等のプログラムを実施する。

これらのプログラムとあわせてキャリアコンサルタントによる丁寧なコンサルティングによってより有効なキャリア形成へ導く。また、キャリアエデュケーションセンターとキャリア教育研究所を中心に教員、事務職員が連携し、学生一人ひとりのキャリア実現に向けてニーズや状況に応じた的確なアドバイスを実施する。さらに卒業後もキャリア教育研究所において実社会での課題への対応や実践的かつテクニカルな課題の修得、キャリア再構築等多岐にわたるキャリア支援を実施する。

このように4年間を通じてキャリア意識を動機づけ、形成を支援するキャリアデザインゼミを正課科目として位置づけ、キャリアコンサルタント有資格者4名によるキャリア相談、就職内定学生を就活アドバイザーとして就活体験報告会等を実施し、それらによる学生のキャリアに対する理解度等についてアンケート調査等を用いて活用することにより連携を図り、決め細やかなキャリア支援を行う。

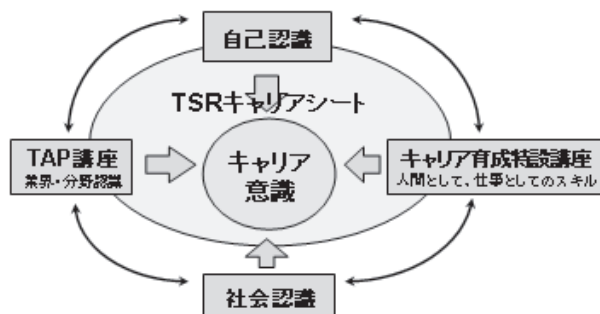


図2 学生のキャリア意識相関図

#### (2) 実施体制

本学のキャリア教育・支援は、初年次より正課授業である「大学入門3」から始まり、「キャリアデザイン

ゼミ」や「キャリア育成特別講座」、「大正大学アドバンテージプログラム（TAP）」等の講座へと進む中で4年間を通じてキャリアコンサルティングによる支援を骨格としている。（「図3 4年間のキャリア支援の流れ」）

そのため、正課授業を主管する教務部と各種キャリア教育・支援を実施するキャリアエデュケーションセンター（CEC）及びキャリア教育研究所が担当教員を含めプログラム内容を相互に吟味し、情報を共有し協力している。

また、キャリア教育を含めた大学全体の学修支援として、教学を支援する教学支援部、学生生活を支援す

る学生部とも連携を取ることでより学生情報を共有し、学生一人ひとりの状況を把握し、有効な支援をするために協力をしている。（「図4 キャリア支援体制」）

## 5. 本取組の評価体制・評価方法

### （1）評価体制

本取組では、キャリア教育運営委員会が評価及び方策の検討を行う。個々の内容についての評価は、キャリア教育研究所において学生に対して実施される各種キャリア意識やキャリア支援に対するアンケート調査、社会・企業に対して実施されるニーズ調査を行うこと

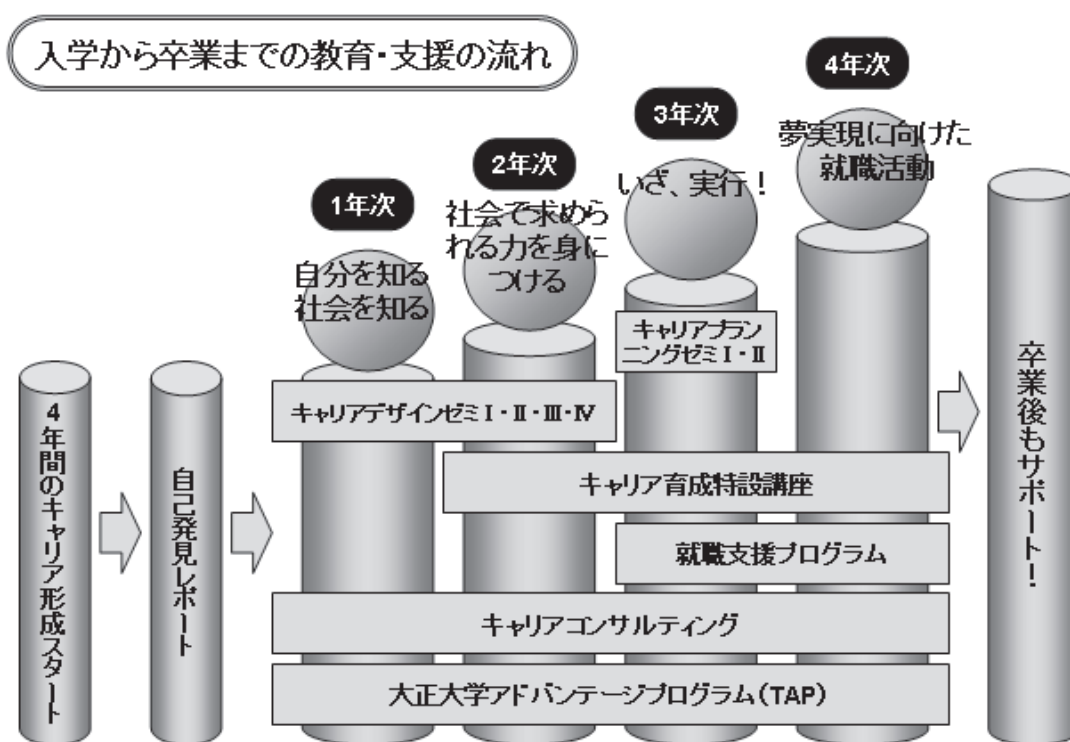


図3 4年間のキャリア支援の流れ

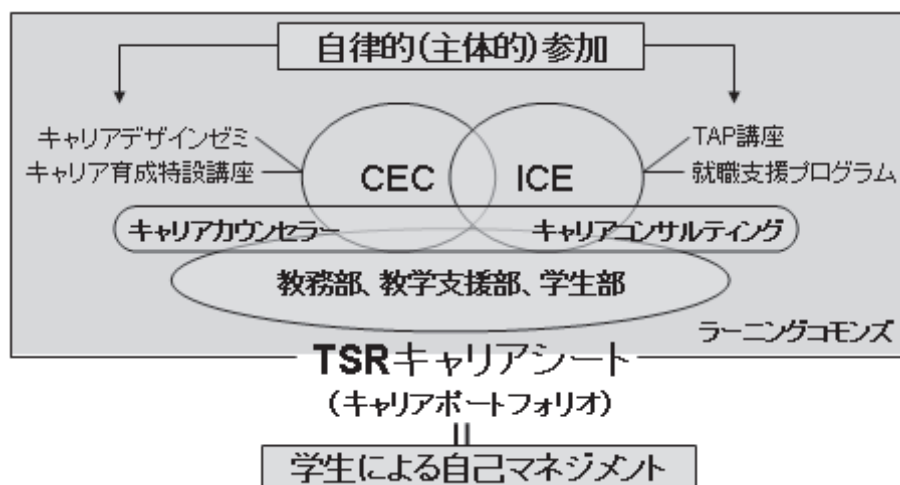


図4 キャリア支援体制

により、それらを総合的に評価・点検する体制を構築する。

学生向けのキャリア意識調査においては、大正学生の入試方式、学部学科、窓口の利用、講座の受講有無、受講講座を基に将来の進路、資格取得、希望講座等をクロス集計することで学生のニーズをより細かく把握し、それを参考にしてより充実したキャリア支援を実施していく。

### (2) 評価方法

キャリア意識や支援に関する調査を行うことにより、学生のキャリア意識が上昇しているか、キャリア選択への有効な支援が得られているかというキャリア支援満足度により評価し、より有効な支援へとつなげていく。

また、キャリア支援の各種プログラムにより自己実現のために自身がどれだけ成長できたのかという学生自身による自己成長度を集計し、学生自身が自分を顧みること、認識を深める尺度とする。

これらを評価指標として、キャリア支援満足度90%以上、自己成長度8以上(10段階)の達成を目指す。

める能力や学生像を把握し、学生の意識やニーズを比較・分析を行う。この分析結果を有効に活用し、短期的には就職活動支援プログラムに、また長期的には次年度以降の1、2年生のキャリアガイダンス等に反映させ展開していく。

## 6. 本取組の実施計画等

1年生全員に「キャリアデザインゼミ(大学入門3)」において、自己発見レポートの作成を課す。この結果を学生自身が認識することで、初年次よりキャリア意識を動機付けていく。その上でキャリアデザインゼミを受講し、明確なキャリア選択ができる能力を育成するために様々な支援していく。

2年次にはキャリアアプローチについての調査を実施し、学生の状況を把握する。学生自身も自分の成長を把握するとともにキャリアコンサルティングにより将来のキャリアに向けた適切な支援を行い、3年次よりはじまる就職活動につなげ、適性にあったキャリアを実現できる支援を目指す。

3年生に対してはキャリア意識調査を実施する。1年生から正課の授業として位置づけられているキャリアデザインゼミや課外で実施する各種キャリア支援プログラム、またキャリアカウンセラーによるキャリア相談等について意識調査を行うことで、就職活動直前の学生のキャリア意識と動向を把握し、実りある就職活動につなげ、そのキャリア形成を支援する。

これらの学生対象の調査を実施するとともに社会や企業のニーズ調査を実施することにより、企業が求